第 13 回（令和 5 年度第 6 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　桜木小学校区連絡会
　　代表者　会長　岡戸美智子

２　開催日等
（１）開催日　令和 6 年 1 月 28 日（日）
（２）会　場　桜木公民館
（３）テーマ　子どもから高齢者まで、全世代が仲良く暮せる地域づくり

３　意見交換の概要
※ [　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　荒川公園周辺整備基本計画について概要説明をお願いします。

市長　荒川公園周辺整備基本計画の目玉は、体育館の整備です。私が市長になって 3,200 人の観客数を 3,500 人に引き上げました。

この計画については、昨年策定した熊谷市総合振興計画後期基本計画にも盛り込み、議会の同意を得ていましたのでこれで進めていましたが、請願が採択され、一旦止まることになりました。

請願事項は、①住環境に配慮すること。②市民にスピーディーに情報発信すること。③文化センターの敷地も含めて再調査等することの 3 点です。

荒川公園は、熊谷駅から徒歩 5 分という地の利があります。これまで、コンサートや文化イベントが行われていた熊谷会館がなくなりましたが、体育館だけでも 3,500 人収容できれば、コンサートや演劇などいろいろなものに使えるということで楽しみにしていましたが、請願が採択されました。

今の体育館は、まもなく耐用年数を迎え、耐震化もされていませんので、地震のときの避難所にそぐわない。空調も入っていません。

駅前に空調の入ったそれなりの規模の体育館ができれば、スポーツ文化公園の体育館と合わせて全国規模の大会が招致できるといわれています。

先ほどの請願事項にある文化センターも含めるとなるとかなり大きな問題になります。除却費用だけでなく、耐震化や施設整備に要した約 12 億円の費用に対する国の補助金の返還なども想定されます。そしてこれまで約 3,300 万円かけて立てた計画が白紙になります。そして新たな計画ということになりますので、少なくとも 3 年遅れるという状況になりました。

この体育館は、スポーツと防災だけでなくて地域の魅力づくりに繋がると思っています。地域の価値が上がり駐車場に建物が建ち、たくさんの人が住むまちになるという目算もしていましたが、先に延びるということで、その結果は、

桜木小学校の統廃合にも繋がると思います。外から人が入ってくれば、子どもたちが増えることになりますので、そういったこともトータルで見込んで来ましたが、体育館については遅れるということです。

私は熊谷駅の南口には大きな魅力を感じています。特にこの地区は荒川の河川敷を抱えています。「かわまちづくり」といって、荒川も含めた自然とより調和できる地域づくり、河川敷の再整備も視野に入れています。

それと熊谷駅南口の再整備です。南口には大きな駐車場がいくつもあります。民間の力をいただきながら、南口の新しい顔をつくっていこうと協議を始めています。

市民　3点質問させていただきます。1点目が工事期間中の桜木小学校区の児童の通学路への影響。2点目、現在の慰霊塔はどう考えていますか。3点目、現在の児童館は今後どうなりますか。

市長　通学路については、桜木小学校に通うお子さんに大きな影響はないと考えています。計画変更があるとしても、通学路に大きな支障が出ないよう心がけます。

慰霊塔はもうかなり古くなりました。危険で内部にも入れない状況です。遺族会と協議しながら他の場所に建て替える方向で検討しています。

児童館については、児童館よりも学童クラブとしてのニーズだと思いますが、桜木小学校区においては、令和6年4月を目途に小学校内の教室を活用して定員35人の桜木児童クラブを整備し、熊谷南小学校においても令和6年4月を目途に小学校敷地内に専用棟を新築して、定員40名の第2南児童クラブを開設します。このことにより待機児童を解消します。

市民　市民体育館の建て替えは老朽化によるものと認識しています。どうせ造るなら、収容人数もできるだけ大きくして、市民がわくわくするような、様々なイベントを誘致することができる施設を造ってほしいと思います。

駅から近い立地を生かしてＢリーグやＴリーグを誘致したり、音楽イベントも熊谷会館がなくなり開催できませんので、アリーナとして活用可能なレイアウトもできる施設にしていただけるといいなと思います。

長岡駅直結の大きい体育館は、新潟地震の教訓で造られたと記憶しています。熊谷の場合は、新たに土地を確保する必要がありません。災害時の断水に備え、水がなくても利用できるトイレや非常用発電機の設置など市民ができてよかったと思えるような施設を造っていただきたいと思います。

市長　今、体育館に熱い注目が集まっています。バスケットボールの1部リーグＢ1、バレーボールの1部リーグＶ1、この二つが本拠地にする条件が5,000

人以上の体育館ということになりました。お話いただいた 5,000 人以上の体育館ができれば、ワイルドナイツのように外からチームを誘致することができます。

それと避難所です。令和元年の台風 19 号を覚えていますか。どこに避難しようか戸惑ったと思います。なぜならば、通常の体育館は水が上がってしまい使えないのです。今度の体育館は床面を高くして、地震はもちろん、水が出ても避難所として使える体育館とし、なおかつ電気があれば、冷暖房も使える避難所になります。地域の皆さん方の声をしっかり反映したいと思います。

市民　荒川公園再整備が先延ばしになるということで、桜木小の統廃合もまちの変化を見ながら進めていくという理解でよろしいでしょうか。

2 点目として、先ほど学童保育について今年の 4 月から桜木小に整備するということでありがとうございます。定員が 35 名で待機児童が解消されるということでしたがそれで十分なのでしょうか。

市長　あるタイミングで、熊谷市のアセットマネジメントといって、人口減少の中で市有施設をどうあるべきかという計画を立てました。学校の統廃合もその一つのテーマです。

小学校の統廃合の時期については令和 12 年度から 16 年度ということですが、これは統廃合ありきではなく条件があります。

児童数が一定の人数以下になると、複式学級といって 1、2 年生が一緒、3、4 年生が一緒とかになります。そのときには統廃合を検討せざるを得ないだろうというのが大前提になります。計画策定時 2030 年から 34 年に、この地区の児童数が減る見込みで、この計画が立てられたと聞いています。

ちなみに昨年の熊谷市の人口は、約 1,000 人減りました。生まれた赤ちゃんが 1,000 人を切って 944 人、亡くなった方が 2,600 人、転入で 600 人の増です。このままの状況では年間 1,000 人ずつ減っていく計算になります。

桜木地区は、体育館や南口の再整備などを進めることによって人口減少にブレーキをかけることができる地区だと思っています。

学童については、現在 40 人、新たに 35 人でトータル 75 人になりますので、しばらくは問題ないと思っています。

（**教育総務課**）小学校の学校統廃合等の検討基準は、複式学級以外の条件として、「全学年で単学級が見込まれる場合は、児童数の動向に注視しつつ、学校統廃合等の適否について検討する。」としています。

市民　能登半島地震で断水が問題になり、水の大切さがテレビで放送されています。万平公園は一時避難場所で、そこから体育館に行くようになっています。

今、桜木小学校区には小学校に井戸が一つあります。誰でも扱えるばね式のポンプ井戸を作っていただきました。ただし一つでは足りないと思いますので、一時避難場所の万平公園にも井戸の設置を希望します。防災訓練で炊き出しとかやっていますが、断水すれば炊き出しもできません。

市長　危機管理上のお話をいただきました。この件については公園緑地課に相談させていただきます。先日テレビを見ていたら、七尾市だったでしょうか。水道の蛇口から水が出たら、高齢のご夫婦が手を合わせていました。そういうときいかに水が大事か思い知らされました。危機管理という部分で対応できるように努力したいと思います。あくまでも、災害を想定した中でのポンプ設置について調整させていただきたいと思います。

ただ、この辺だと浅井戸になりますので、生で飲めるかというと、そういうことではありませんので、そこだけご理解をいただきたいと思います。

市民　万平公園は地域のシンボルで、皆さんと楽しく清掃活動や文化活動を行っています。公園内には、水道がトイレの前に 2 箇所ありますが、防災訓練の炊き出しのときや、蚕霊塔の清掃や花の水やりなど水道が離れて２箇所あれば便利です。

市民　公園の北側に公園サポーターの活動としていろいろ花などを植えていますが、近くに水道がないので大変です。北側に水道があれば蚕霊塔にも近くなると思います。

市長　お話を持ち帰らせていただいて、担当と相談させていただきます。

市民　平成 28 年に万平公園石碑研究会を立ち上げて、市の市民活動推進課の地域計画事業加算金 20 万円を活用して竹井澹如さんの説明板を設置しています。昨年 4 月に全国さくらシンポジウムがあって全国から来た方に郷土の説明をする機会もありました。これに関する展示をこの公民館でしているのですが、もったいないので現地で資料が見られる資料室みたいなのがあるといいなと思っています。お金をかけずに、4 万円程度の物置小屋程度でいいので、資料も全部手作りでこちらが提供するので、市で小屋程度のものを作ってもらって、こちらが調べた情報とか資料を載せたいと思っています。管理の仕方は検討する必要がありますが、そんなことができたらいいなと思います。

市長　資料室と聞いてドキッとしましたが、4 万円ぐらいだとただの資料置き場の倉庫になりかねないのかなと思いますが、資料をそこに保管するということですか。

市民　鍵の開け閉めなど管理上の問題はあります。汗はこちらで流すので、小さいものをちょっと作ってもらって、今まで私達が 7 年間研鑽した資料などを

置かせてもらえれば現地で見れますので。

市長　そういうお話であれば公園緑地課と併せて江南文化財センターも交えて検討させていただきたいと思います。

桜を守っていただけるのは大変ありがたいと思っています。

万平公園には養蚕の碑があって、竹井澹如さんの碑があって、桜だけではなくて、熊谷の歴史に関わっている地域でもありますので、持ち帰って地域の皆さんの思いを汲み取って打ち合わせをさせていただきます。

（公園緑地課）万平公園に関するご要望等につきましては、校区連絡会、自治会等と必要性や管理方法等について協議し、設置の可否を検討します。

市民　体育館については、スポーツを前面に出したまちづくりはいいことだと思います。図書館やプラネタリウムなど文化の面も引き続き大事にしていただきたいと思います。

ただし、交通の面が心配です。例えば、今も自分の家から、保健センターやくまぴあに行くのに、秩父鉄道や高崎線を越えて駅の北側が混んでいて三、四十分かかったりします。今後体育館を整備すると一層の混雑が予想されます。外からも大勢の人が来ると治安の面や、ゴミのルールが守られるかも心配です。

今回の体育館は避難所等にもなるということで応援していこうと思います。

市長　熊谷市の小・中学校において、令和５年度「新体力テスト」の結果は、男女ともに全国１位の都道府県の数値を超えており、まさに日本一という結果となりました。また、「全国学力・学習状況調査」でも、埼玉県や全国の平均を大きく上回り、限りなく日本一に近い結果となりました。熊谷の子どもたちはスポーツばかりではありません。

治安とゴミの話がありましたが、体育館について厳しい意見をなさる方は自然を大切に、木を切らないでと言われます。この公園は 58 年前に体育館と同時期にできた人工公園です。木が高くなりすぎて枝を切るなどの管理が難しくなりますし、空洞ができて倒木の危険があります。

また、死角がたくさんできて治安が悪化したり、ゴミのポイ捨てが結構あるということですので公園も含めて管理をしなければならないと考えています。

市民　行政から市民への連絡方法として、駅前のロータリーの真ん前に掲示板のようなモニターがありますが、ああいうものを市内に置いて情報提供できませんか。お年寄りに映像や音声で伝えるのは有用だと思います。

今回の体育館の話なんかも、モニターを何か所か設置して発信すれば、より多くの人に伝わるんじゃないかなと思います。

市長　熊谷市は昨年スマートシティ宣言をしました。デジタルを使って皆さん

に情報発信をしていこうということです。大きな画面の中で、刻々と変わるニュースを流したらどうかという話ですが、結果的に一部の方たちだけになってしまいます。今、スマホの都市ポータルアプリ「クマぶら」を通じて、市の情報を発信するようにもしています。

とはいえ高齢者は苦手だという話もありますのでスマホに親しんでいただくために、クマＰＡＹという地域電子マネーを作りました。

クマぶらを有効に使っていただければ、今の話の一部は解消できると思います。